

晩秋の宵 暮れやすい11月の空は、學校、務
め先、仕事先の歸路、早や木枯しに乗せて
來たかの如く、星をまたたかせて居る。

1938年

11月の天象

夕餉をすませる頃には、トツブリと暮れ
た空に、射手、へび遣ひ、ヘルクレスの諸
星座は、地平線に半ば體を沈めてしまつて居る。白鳥、琴、鶯も時の流れに
は抗し得ず、西への傾きが目立つて來た。南には木星が依然と大顔に控へて
居り、ベガスの四邊型が中央に在るのは、前月と大して變りないが、少し
望遠鏡を通して土星でも見て居る内に、冷え込む初冬の冷氣に氣が付く頃
には、中央にはカシオペア、アンドロメダ、鯨と、北から南へ、今は無きロ
ヤル・ファミソのエチオピア群に占められて居る。勿論是等は、先年亡ん
だハイレ・セラシエー世のエチオピアよりは、エジプトの先祖に近いとは思
はれるが。

ありや何んだらうと、見知らぬ人によく尋ねられる“すばる”は、東に高
く、カペラやアルデバランも、もう堂々たる光輝を放つて居る。見へる見へ
る!! オリオンだ!! 双子も仲よくブランコをし乍ら昇つて來た!!

それにしても、餘りにも早い時だと一瞬思ひ出されるのも、又此の星座を
見た時である。奥手の稻は今モミにされて居る。“少年易老學難成”誰かがそ
んな詩吟を口にして居る様に聴こへてならない。いや星が云つて居るのだら
うかしら。しみじみと枯れかけた冷めたい田舎の草に腰を下ろして、もう一
度星を見上げると、何んだかひとりでに掌を合せて見度くなる。この星は東
亞の黎明木靈する天地にも光つて居るだらう。

太 陽 “天秤”座を通過して、下旬には“さそり”座の北端をかすめて“へび
遣ひ”に入る。此の星座は黃道十二宮が創設された頃には、太陽は入らなかつ
たのであらうが、其後數千年を経て、春分點が前進した結果、黃道が通過
する様になつたのである。例に依つて表記すれば

日付	赤 經	赤緯	晝間	夜間	夕刻の薄明終焉
<small>日</small>	<small>h m s</small>	<small>° ′</small>	<small>時間 分</small>	<small>時間 分</small>	<small>時 分</small>
1	14 22 11	-14° 9'	10 45	13 15	18 28
6	14 41 52	-15 43	10 37	13 23	18 25

11	15	1	54	-17	11	10	28	13	32	18	22
16	15	22	17	-18	31	10	19	13	41	18	18
21	15	43	2	-19	43	10	12	13	48	18	16
26	16	4	7	-20	47	10	5	13	55	18	15

の通りである。月末日没の最も早い時季になつて来た。

月 先づ1日、月齡9.1の月が“水瓶”座から始まる。グルット一周以上して、再び月末“水瓶”座に終る。其の間の様子は

日附	月齡	視直徑	星座	時刻	記 事
8	16.1	32'07"	羊	7 ^時	満 月
11	19.1	32'37"	オリオン	13	近地點通過
15	23.1	32'05"	か に	1	下 弦
22	0.5	30'17"	天 秤	9	新 月
27	5.5	29'29"	射 手	12	遠地點通過
30	8.5	29'51"	水 瓶	12	上 弦

上表の如くである。闇夜が無くなるのは、7日から9日まで、反対に全く月の見られないのは、22日から24日までである。26日、月齡4.5の月が西天低く見られるのが次週の始まりだらう。(以上月齡は日本中央標準時21時の値である。)

水 星 夕空に居る。9日の夕には金星の南4°許りの所に居るが、可なり見難い。25日東方最大離角22°に達するが、赤緯が-25°であるから、一寸望遠鏡を向けるのには低すぎる。

金 星 さしもの王者も、1日停留を経て、實にすばやく太陽に近ずき、20日には内合する。内合前後に、弦の延びが半周以上になるのが観測されて、大氣の存在する證明にされてゐる。

火 星 “乙女”座中央部を通過中、依然観測は望み薄すである。

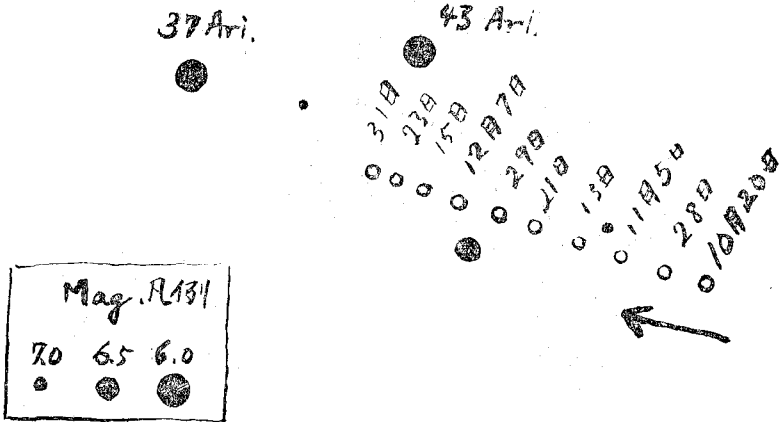
木 星 “山羊”座の東端で順行に移つた。大分西に傾いて来たが、其れでも未だ未だ觀望には好期である。視直徑は39''~36''、光度-2.0~-1.9。

土 星 “魚”座の中央部に居て對衝を少しすぎた許り。本體の視直徑は17''、輪は43''5もあるが、傾斜は8°餘りに減少する。然し今丁度見頃と云つてよ

い. 夕方早や東南の空に控へて居るのだから.

天王星 “牡羊” 座で9日對衝になる. 光度6.1, 視直径は3.6, 此處に圖を示す.
肉眼か双眼鏡で確かめてから, 10cm150 倍の器械で見ると, 辛じて小さな青
い丸に見へる. 衛星は25cm 位入要だが, 今迄に11cm で見た記録はある.

1938年10~12月, 天王星徑路



海王星 “獅子” 座の東端, 曉に居るが一寸駄目.

冥王星 “かに” 座に居る.

小遊星セレス	11月 2日	時 分 3 34.5	+10 度 分 19.2	光度 7.3
	6	3 30.9	10 15.0	7.3
	10	3 27.2	10 11.5	7.3
	14	3 23.3	10 8.8	7.3
	18	3 19.5	10 7.2	7.3
	22	3 15.7	10 6.7	7.3
	26	3 12.0	10 7.6	7.3
	30	3 8.4	10 10.0	7.3

アルゴル (ペルセのβ) 11月中に見られる極小は

3日の21時, 23日の22時5, 26日の19時5 である.

ユリウス日は11月1日21時(日本中央標準時)は2429204.0である. (木邊)